東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門（U-PARL）主催

絵と詩 少数民族ショルのこころ展

南シベリアに暮らす少数民族・ショル族のアーティストが描いた絵と詩をパネル展示します。生活風景や思想を映す作品から、民族の現状や消滅危機にある少数言語を知ってみませんか。

2月4日（水）▶15日（日）

安曇野市豊科郷土博物館

開館時間 9:00〜17:00
入館料 100円

場所 1階・2階ホール

費用 無料
（常設展の観覧は要入館料）

問い合わせ TEL72-5672

アルバチャコワ・リュボフ「道しるべ」

アルバチャコワ・リュボフ「カラヴァン旅」

講演会

絵が語り、詩が描く―作品から見える“こころ”の声

少数言語を研究する講師から消えゆく言語の現状を学び、多様な文化の継承や共生を考えます。
日2月14日（土）10:00〜11:30　場2階学習室
講アクマタリエワ・ジャクシルクさん（東京大学、編集・日本語訳者）
費要入館料　定30人（先着順）
申1月31日（土）から電話で
他参加者には展覧会冊子を無料配布

アクマタリエワ・ジャクシルクさん

東京藝大交流事業

アンサンブルファミリーコンサート

東京藝術大学音楽部の皆さんが木管・金管楽器、パーカッションをグループで演奏します。
音色の異なる楽器が重なり合うことで生まれる、色彩豊かで奥行きのある響きをお楽しみください。

2月8日（日）13:30〜15:00（開場13:00）

場所 豊科公民館ホール
費用 無料
定員 500人（当日先着順）
申し込み 不要
問い合わせ 文化課 TEL71-2463

豊科交流学習センター「きぼう」熊井啓記念館

ミニシアター「帝銀事件 死刑囚」

1964年に公開された熊井啓監督デビュー作品「帝銀事件 死刑囚」を上映します。
日2月13日（金）10:00〜12:00（開場9:30）
場「きぼう」多目的交流ホール
費無料
定80人（当日先着順）
問文化課 TEL71-2463

穂高交流学習センター「みらい」

MIRAIグランドピアノ無料開放

常設のグランドピアノを無料開放します。
日3月20日（金・祝）10:00〜16:50
場「みらい」多目的交流ホール　対ピアノ経験者
費無料　定7組（1組50分・先着順）
申2月19日（木）10:00から電話で。初めて参加する人は2月18日（水）から先行受付を開始します。
問穂高交流学習センター「みらい」TEL81-3111

文書館・堀金公民館 新堀金のお宝発見講座

誰でもわかる山口家

江戸期から明治期の300年を超す文書から見える安曇野の世界をわかりやすく解説します。
日3月1日（日）13:30〜15:00
場堀金公民館講堂　講平沢重人（文書館館長）
費無料　定100人（先着順）　申堀金公民館へ電話で
問堀金公民館 TEL72-5796

約1万2000点ある山口家文書のうち大庄屋在任中の職務覚書

第39回　コラム　市誌編さんだより

北アルプスと天気

市誌編さん専門調査会　自然部会　専門調査員　上条藍悠

写真は昨年7月に安曇野市役所の4階から北の方角を撮影したものです。左手には積雲が北アルプスに沿って並んでいます。天気という観点から見ても北アルプスは大きな影響力を持っています。

山には上昇流を発生させやすい性質があるため、北アルプスは雲が生まれやすい環境になっています。

そのため、夏の夕立などがある日は山側から雷の音が聞こえてくることがしばしばあります。

冬も山は雲を生じさせる場所になっています。ただし、冬の風は北西から吹いてくるため、北アルプスの北西にある北陸地方に雨や雪が多く降ります。山を越えると雲は消えてしまうため、安曇野では山沿いの地域でよく雪が降ります。

こうして山に降った雪は、雪解け水として安曇野の水田やワサビ田を潤す水となります。一方で四方を山に囲まれた平野部は、山で雨や雪が降るため年間を通して降水量が少なくなっています。

山々がもたらすこうした気候の特性は天気にとどまらず、栽培できる作物や生産できる特産品、また文化にまで影響をもたらしています。

安曇野市役所４階から見える北側の風景